



# しらやま

白山小学校だより No.9

令和2年6月29日

## ☆☆☆☆☆ コウノトリ 巣立つ ☆☆☆☆☆



巣立ち前のひなたち（越前市提供）

安養寺町の人工巣塔で生まれたコウノトリのひな4羽のうち「やまちゃん」と「さーくん」の2羽が21日（日）に、「あーちゃん」が27日（土）に巣立ちました。残り1羽の「しらくん」は巣塔の上で羽ばたきの練習をしているというので、巣立ちも近いようです。コウノトリをシンボルとして人と生き物が共生する里山を目指し、白山・坂口地区で活動が始まったのが2009年。10年余が立ち、ついに地元の人たちの熱い思いと地道な努力が結びつきました。この親鳥ペアについては昨年がありましたから「今年こそは」と地元の人たちや市民のみなさんからの期待も大きく、それだけにとってもとてもうれしいニュースになりました。本校でも巣立ちを迎える数日前からコウノトリの様子をライブ配信で見てきており、子どもたちにとっても大きな喜びにつながりました。

コウノトリが暮らしていける豊かな環境では、人と人、人と生き物がお互いを思いやって生活していますから、そこに暮らす人たちの心も豊かになるのではないのでしょうか。コウノトリが暮らしていける場所は、私たち人間にとっても暮らしやすい社会といえます。本校の子どもたちにはこのうれしいニュースをきっかけとして、自分たちが住む白山の地域や環境に対する意識をさらに高めていってほしいと思います。

## ◆◆◆ 第1回 しらやま家庭・地域・学校協議会 ◆◆◆



26日（金）に、今年度1回目のしらやま家庭・地域・学校協議会が開かれました。この会は、小・中合同開催をしており、白山区長会長様をはじめ19人の委員で構成されております。子どもたちの成長や教育に関わる課題について協議し、地域全体の教育力をより向上させ、地域に開かれた学校づくりをめざしていくものです。

はじめに、小学校と中学校から今年度のスクールプランや現在行っている感染症対策などについて説明をいたしました。その後の意見交換では、次のようなことが話題となりました。

- ・この白山に愛着が持てる子を育てることについて
- ・連携活動を充実させていくことについて
- ・新型コロナウイルス感染症が子どもたちに与えた影響と今後の教育活動について
- ・登下校時の安全確保とスクールバスについて

この会でいただきましたご意見を参考にしながら、子どもたちの成長にかかわっていききたいと思います。